



# 6月 こんげつ 今月のいいね!



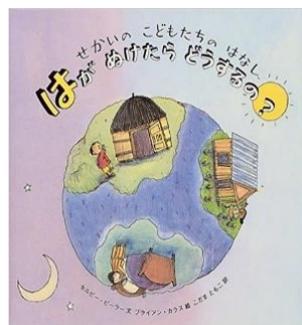
は たいせつ 歯を大切にしよう!



日本歯科医師会は1928年、むし(64)にかけて6月4日を“むし歯予防デー”としました。今は6月4日～10日を“歯の衛生週間”としています。80歳まで自分の歯を20本以上残そうという8020(ハチマルニイマル)運動もすすめています。

今月は「歯」に関する本をあつめてみました♪

歯がぬけたら、みんなはどうする??



『はがぬけたらどうするの?』

セビ・ビーラー 文/ブライツ・カス 絵/ル・バルカン  
乳歯がぬけたとき、そのぬけた歯をみんなはどうしているのでしょうか?世界中の64の地域からあつめた、66のさまざまな興味深い言い伝えや風習をイラストで紹介。国際理解にも役立ちます。巻末には図解入りで、歯の中のしくみや、歯には4つの種類があることなど、くわしく書かれている知識のページつき☆



むし歯のもんだいを、歯医者さんがおしえます!

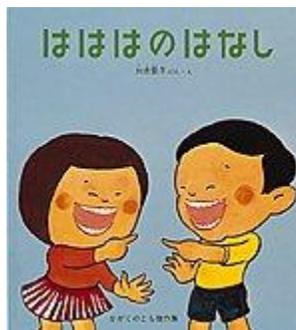
むし歯のもんだい



『むし歯のもんだい』

北川原 健・柳生 弦一郎/福音館書店  
むし歯のバイ菌は小学生の歯がだいすき!  
どうして、きみたちの歯がいちばんむし歯のバイ菌にねらわれやすいのかな?むし歯のバイ菌にねらわれたら、どうしたらいいのかな?むし歯のもんだいを、歯医者さんがやさしく教えてください☆

すべての子どもたちにおくる“歯歯歯”のおはなし



『はははのはなし』

加古 里子 文・絵/福音館書店

「ははは はっはっはっはっは」と、みんなおもしろそうに笑っているのに、ひとりだけ泣いている子がいます。「歯」が痛くなって泣いているのですね。むし歯の痛さはだれでも知っています。歯の大切さと、歯をしょうぶに守る方法を、からだ全体との関連のなかで、わかりやすく、楽しく考えていく絵本です☆

6歳臼歯が生えてきたら...



『ぼくのはもうおとな』

加古 里子 文・絵/福音館書店

むし歯になった歯をきちんとなおしておく、まもなく新しくおとなの歯がでてきます。この本はそのとき、もう前の失敗をくりかえさないようにと思ってかかれた本です。6歳臼歯が生えてきたら...。歯の生え方やケアの仕方など、永久歯の大切さをわかりやすく紹介しています☆

歯の大切さがよくわかる!



『歯の絵事典』

関口 浩 監修/PHP研究所

人間の歯は、食べ物をかむだけでなく、発音を助ける、顔の形を整える、健康を助けるといった役割があります。この本は、人間の歯の特徴と役割、生えかわるしくみなどを紹介するとともに、むし歯予防や子どもにも増えている歯周病予防の方法を、イラストでわかりやすく紹介しています☆

